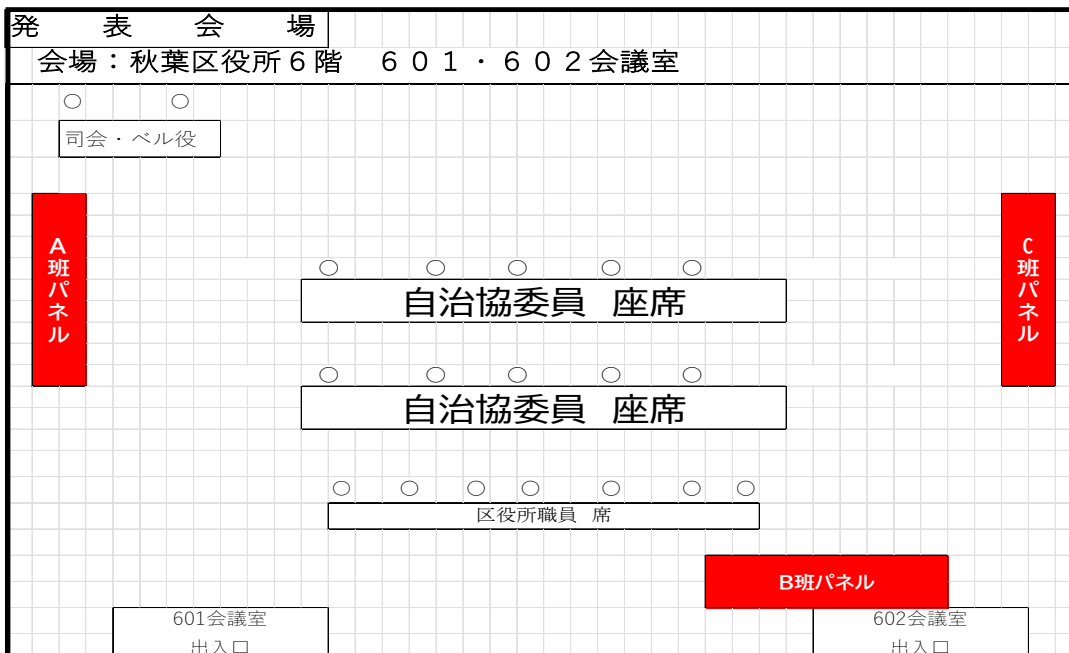


## 【当日の発表スケジュール】秋葉区未来ビジョン事業実施報告会

グループ	発表順	団 体 名	備 考
A班	①	荻川コミュニティ振興協議会	15:15~15:20発表 15:20~15:25質疑
	②	阿賀浦コミュニティ協議会	15:25~15:30発表 15:30~15:35質疑
	③	満日コミュニティ協議会	15:35~15:40発表 15:40~15:45質疑

B班	①	新関コミュニティ協議会	15:15~15:20発表 15:20~15:25質疑
	②	小合地域コミュニティ協議会	15:25~15:30発表 15:30~15:35質疑
	③	金津コミュニティ振興協議会	15:35~15:40発表 15:40~15:45質疑

C班	①	新津東部コミュニティ協議会	15:15~15:20発表 15:20~15:25質疑
	②	山の手コミュニティ協議会	15:25~15:30発表 15:30~15:35質疑
	③	小須戸コミュニティ振興協議会	15:35~15:40発表 15:40~15:45質疑





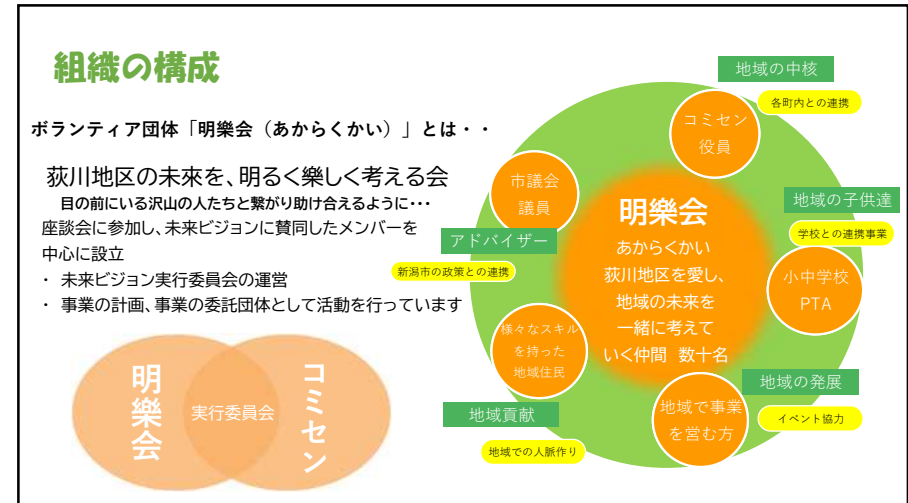
令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

A班①

荻川コミュニティ振興協議会  
～令和7年度の取り組みと  
今後の展望～



1



2



3



4

## 今後の展望

- 今までにない発想で地域に貢献
- 地域の「困りごと」解決への取り組み
- 新たな人財を発掘



ふるっとさん  
多世代間交流の座標づくり「ふるっと広場」  
イメージキャラクター



令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

B班①

新関コミュニティ協議会

～新関で踊ってみた！！～

## 新関で踊ってみた！！

新関のご当地ソングである「ふるさと新関」を地域の人々・団体などが、地域の名所（夢マップ他）などで踊り、コンテンツとして配信する。



1

## 取り組み工程

### 【7年度】

- ①地域への事業告知と踊りの普及に取り組む。（ポスター、告知用・踊り練習用動画作成、講習会開催）
- ②撮影場所・時期等を整理・検討する
- ③キックオフイベント開催



### 【8年度】

- ①具体的に動画撮影に取り組む。
- ②編集と動画を作成する。
- ③開示準備・段階的開示に知り組む。  
※撮影場所の許可、開示に伴う肖像権・開示範囲等の課題整理が必要となる。）



2

## 第一ステップみんなで踊ろう！

### 1、地域へ告知と参加者募集を行う

各地域に事業の説明と地域での踊りの具体例を提示して、踊り手を募集する。（ポスター、チラシ、動画など）

### 2、講習用ビデオ作り

講師を起用して、講習用ビデオを作成して、活用する

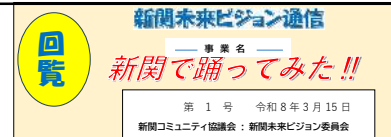
- ショート動画1本
- フルバージョン1本

### 3、講習会を開催する

皆で踊れるように講師を招いて、講習会を開催する



3



これまで未来ビジョン関係を会報でお知らせしておりました。今後は、自治会回覧文書として「**未来ビジョン通信**」で皆さまにお知らせしていきます。内容をご覧いただきご理解とご支援をお願い申し上げます。なお、必要に応じて会報でもお伝えいたします。

**「新関で踊ってみた！！」プロジェクトが動き出します！**

第1回目「ふるさと新関」踊りの講習会と合わせて、キックオフイベントを開催いたします。みなさまの参加をお待ちしています。

**日時：令和8年3月31日（火）午後1時30分～**

**（約1時間程度）**

**会場：新聞コミュニティセンター 大ホール**

※当日講師はレクダンスサークル「楽しい輪」の皆様にお願っています。

※裏面もご覧ください。

4



5

### ロケハン 風景

### 「ふるさと新聞」踊り動画作成!

踊り撮影風景
チェック!
鑑賞

**インスタ  
開設!**

新着コラムのインスタも開設しました。未来は  
ジーンズの動画を日々投稿・イベント  
情報などを発信していきます。是非おフォロー  
をお願いします。近況をお知らせにもお困  
りなお客様もぜひご確認をお願いいたします。

6

2



令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

C班①

新津東部コミュニティ協議会

～新津川を歩こう！

遊歩道マップ写真募集～

WANTED NIITSU SALMON

# 新津東部コミ協 未来ビジョン事業の今後に向けて

## ■今後の未来ビジョン事業のねらい

- 子どもたちをはじめ、世代を超えた皆さんが、地域に対する愛着や誇りを持ってもらえるための事業にしていきたい。
- 新津東部コミ協、新津第二小学校、二小PTAが、連携・協働して、行い、子どもたちを地域で、守り育てるための事業にしていきたい。
- 幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学が、一堂に介して行い、「つながり」を構築するための事業にしていきたい。
- 子どもたちが、自分たちで考え、行動する活動を、大人たちが支援・協力するための事業にしていきたい。



2026年3月27日 新津東部コミュニティ協議会

1

## 1. 東部コミ協：未来ビジョン事業の経緯 (1) 令和5年度（2023年度）未来ビジョン事業

- 新津東部コミ協 未来ビジョン座談会 令和5年
  - 10月15日 第1回 地域の未来を妄想しよう！
  - 11月12日 第2回 資源・課題の現状把握とアイデア出し！
  - 12月10日 第3回 アクションプランをつくる。

○新津東部コミ協役員、地域の方々、新津第二小学校、二小PTA、新津第五中学校に呼び掛けて、未来ビジョン座談会を開催。  
グループワークでWSを行い、3回の座談会を行い、最終的に、5つのアクションプランが提言された。

2

## ●提言された「5つのアクションプラン」

### 01 にいつ巡りMAP

- ・にいつの魅力をリストアップし、他地域の方々に紹介する。
- ・自家用車でも、公共交通機関（JR、区バス、レンタサイクル）でも行けるコース

### 03 T・T・T (地域探検ツアー)

- ・子どもたちが、自分で考え、自分で探し、地域の良さを体験。
- ・子どもたちから見た、地域の良さを伝える。
- ・地域の伝統・魅力等を次代につなげる。

### 05 East Park

- ・図書館脇の親水公園を活用し、フルマーケットや演奏会、ウォーキングイベントを定期的に開催する。
- ・旧ベルシティの協力をお願いしながら、キッチンカーなどの食イベントも検討する。
- ・子どもたちが参加してみたいと思えるイベント内容を検討する。

### 02 虹の遊歩道 ラメ事業

- ・新津川の遊歩道を活用する。
- ・1年を通じて、誰もが楽しく歩ける遊歩道のする。
- ラメ事業：今あるものを磨き、輝かせる。

### 04 ふれあいロード 新津川

- ・現在行っている自治・町内会の除草作業などを一斉に連携し行う。
- ・維持・管理作業も地域のふれあい・きずなを深める場として楽しむ。

3

## (2) 令和6年度（2024年度）未来ビジョン事業

- 未来ビジョン座談会『お試しプラン』 令和6年度
  - ① WANTED : NIITSU SALMON
  - ② 新津川遊歩道探検マップづくりWS

○5つのアクションプランを検討し、令和6年度は、『お試しプラン』として、新津第二小学校が、新津川に「サケの稚魚」の放流を行っていることを踏まえ、新津川に遡上する「サケ」の目撃情報を募集する  
WANTED : NIITSU SALMON事業と新津川の魅力を多くの方々に伝える「新津川遊歩道マップ」を作成するための資料（新津川の魅力）等を探索する新津川遊歩道探検マップづくりWSを開催した。

4

## ①WANTD : NIITSU SALMON



### ●WANTED:NIITSU SALMON

・新津川を遡上する「サケ」をみんなで探してもらい、目撃情報を東部コミ協あてに、写真等の証拠資料を添えて送付してもらおう。

日時：令和6年11月10日～12月10日

結果：目撃情報なし

### ●能代川の「サケ」捕獲数（能代川サケマス増殖組合）

- ・平成14年（2002年） 437匹（統計上初記録）
- ・平成27年（2015年） 8,902匹
- 最盛期：9,000～10,000匹（放流数100万匹 回帰率1%）
- ・令和4年（2022年）3,300匹 ・令和5年（2023年）1,100匹
- ・令和6年（2024年）800匹（12月13日現在）

5

## ②新津川遊歩道探検マップづくりWS

・新津川遊歩道をグループ毎に探検し、「気に入った所」「良い所」、「気になる所」「困った所」をみんなで探し出し「探検マップ」を作成する。

日時：令和6年11月17日（日）

10：00～17：00

会場：新津図書館研修室

新津川遊歩道（新町大橋～山先橋）

参加者：28名 5グループ

- ・二小児童 6名
- 未就学児1名（親子参加 3組）
- ・二小PTA 5名
- ・新津第五中学校 8名（地域外2名）
- ・地域住民 8名（高校生1名）



●グループで新津川遊歩道を散策し、気になる所等を写真撮影し、その後、探検マップ作りを行う。

6

## （3）令和7年度（2025年度）未来ビジョン事業

### ●東部コミ協：未来ビジョン事業 令和7年度

#### ① 新津川遊歩道 写真募集事業

#### ② WANTD : NIITSU SALMON事業

#### ③新津第二小学校「夢の新津川プロジェクト」

○7年度は、新津川遊歩道マップづくりのための資料収集として、地域の方々を対象に新津川遊歩道 写真募集事業と昨年に続き、新津川を遡上する「サケ」の目撃情報を募集を行う

WANTD : NIITSUSALMON事業をメイン事業として行いました。

また、二小5年生が、総合学習の成果をまとめる中で、新津川に対して、自分たちでできること、家庭や地域、行政等をお願いすることを整理した『夢の新津川プロジェクト』を作成しました。

7

### ●新津川遊歩道 写真募集

### ●WANTED NIITSU SALMON



8

### ①新津川遊歩道 写真募集の概要

- 募集内容  
Instagramで新津川遊歩道のマップに掲載する風景写真を募集
- 募集期間  
令和7年6月1日～8年1月31日
- 事業目的  
令和6年度新津川遊歩道探検マップづくりWSを実施。  
この遊歩道マップに掲載する写真を広く皆さんから募集する。  
遊歩道に足を運んで頂くことも1つの目的
- 事業の成果  
#新津川遊歩道マップで、写真を募集。  
現在、まだ、100件未満となっている。
- 今後の課題  
この写真募集は、今後も継続していければと思っているが、新津川に足を運んで頂くためには、もっと具体的な事業・取り組みを新津川で行うことが必要であると感じています。

9

### ②WANTED NIITSU SALMONの概要

- 募集内容  
新津川に遡上するサケを見つけて、その写真等を応募してもらう。
- 募集期間  
令和7年11月10日～12月10日
- 事業目的  
新津第二小学校では、新津川にサケの稚魚の放流を行っている。  
そのサケが新津川に遡上する姿を皆さんで探してもらい、新津川にサケが帰って来ることを再確認する。
- 事業の成果  
この募集は、令和6年から始めた事業。  
残念ながら、令和6年、7年と目撃情報なし。
- 能代川 サケ捕獲数  
平成27年 8,902匹 \*最盛期 回帰率1%  
令和4年 3,300匹 令和5年 1,100匹 令和6年 800匹 令和7年 800匹  
と近年、遡上数が激減しているが、今後もこの事業は継続して、新津川のサケの遡上を確認したい。

10

### ③第二小5年生「夢の新津川プロジェクト」

#### ●夢の新津川プロジェクト

～新津第二小学校5年生～  
新津第二小学校では、4年生の最後に、新津川にサケの稚魚を放流して、その後、5年生で、新津川やサケのことを総合学習で学んでいます。  
今年の5年生は、今年の取り組みを踏まえて、6年生になってから行う新津川への取り組みを「夢の新津川プロジェクト」としてまとめ、10月の文化祭の時に発表しました。  
それは、学校内・児童だけで取り組むことから、地域や家族、行政（区、市、県）との連携が必要なレベルのことまでを考え、5つのテーマを設定し、自分たちでできることを提案したプロジェクトでした。

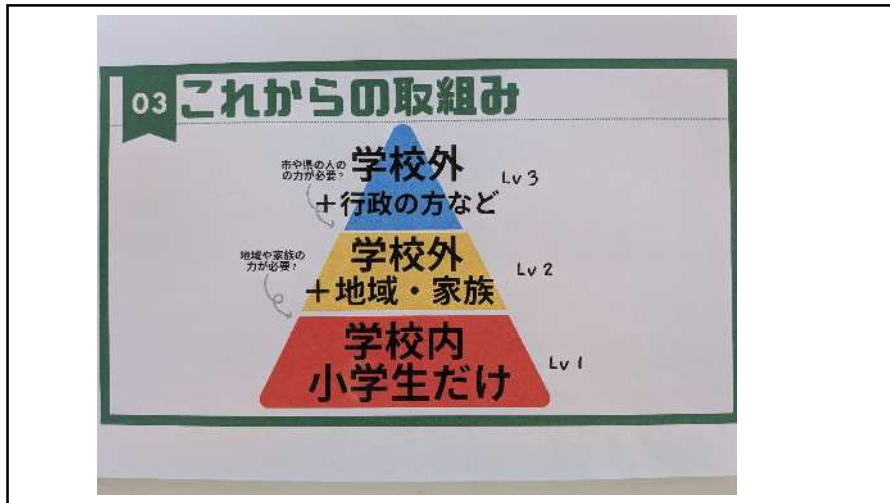
- 5つのテーマ
1. 川をきれいに
  2. 川の周りをきれいに
  3. サケが帰ってくる
  4. 新津川の生き物
  5. 全体的な環境問題

■未来ビジョン  
：今後の展望  
この「夢の新津川プロジェクト」をもとに、地域として何ができるのか？  
二小と連携を図りながら事業展開を行いたい。

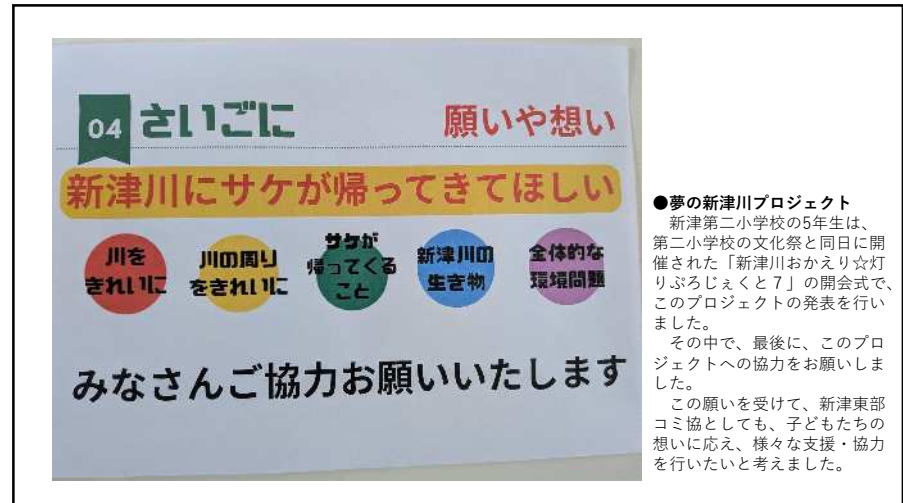
11



12



13



14

**(4) 「夢の新津川プロジェクト」：レベル2の活動事例**

●**新津川クリーン作戦 令和8年3月4日(水) 9:00~10:00**  
 新津第二小学校の5年生は、その後、レベル2事業として、新津川の「ゴミ拾い」を行う『新津川クリーン作戦』企画しました。  
 この活動は、令和8年3月4日(水)9時行われました。この日は、10:30から、4年生が新津川へ「サケの稚魚」を放流を行うことになっており、その前に、新津川を少しでもきれいにしたいという想いも込めて行われました。  
 当日は、東部コミ協役員や地域の方々も参加し、子どもたちと地域の大人たちが協力して行うことで、レベル2に相当する活動となりました。  
 当日は、わずかな時間ではありましたが、全員で20kgを超える「ゴミ」を回収しました。  
 その後、4年生が、能代川サケ・マス増殖組合さんの協力を得て、新津川に2万匹を超える「サケの稚魚」を放流することができました。

●**「夢の新津川プロジェクト」発表会 令和3月10日(火) 13:40~**  
 令和8年3月10日に、秋葉区 長崎区長はじめ行政の方々を迎えて、「夢の新津川プロジェクト」の発表会を行いました。  
 灯りぶろじゅくとの開会式で発表した内容に加え、その後に活動したこと、今後の活動内容等について、5つのグループに分かれて、スライドを使って発表を行いました。  
 発表は、とても素晴らしいものであり、ゲストの方々も大きな拍手を送っていました。

15

**(5) 今後の未来ビジョン事業のイメージ：転換期**

今回、5年生が「夢の新津川プロジェクト」のレベル2事業として行った「新津川クリーン作戦」は、これまでも、何度か、子どもたちを中心に行われていました。  
 中でも、30年以上に渡り、第二小学校が新津川をテーマにした「総合学習」や「サケの稚魚」の放流を継続して行ってきたことには、大きな転換点があったと思っています。

●**新津川の水質調査と新津川クリーン作戦 平成19年、20年(2007年、2008年)**  
 二小では、環境教育の一環として平成6年(1994年)から、新津川への「サケの稚魚」の放流をはじめ、平成12年(2000年)からは「総合学習」として、新津川をテーマにした学習、放流も継続されていました。  
 その中で、平成19年(2007年)の5年生が、総合学習で「サケはきれいな川に帰って来る」ということを学び、新津川の汚れをみて、サケが無事に戻ってくるかを心配した子どもたちが新潟薬科大学の協力を得て水質調査を行った時に『新津川はサケが戻って来ても生きていけない川』という残酷な宣告をされました。  
 当時の子どもたちは、この宣告にあきらめることなく、『新津川のクリーン作戦』を考え、自分たちで「ゴミ拾い」を行います。  
 この経緯をまとめた「作文」が、平成20年(2008年)9月に新潟市で開催された『第28回全国豊かな海づくり大会』の作文コンクールで大会長を受賞し、平成天皇皇后両陛下のご臨席の下、作文を書いた6年生の中静さんが発表を行いました。  
 これは、マスコミにも報道され、多くの地域の方々に、二小の取り組みを伝えることとなったと同時に、その後も、「サケの稚魚」の放流が続いた大きな要因であると思います。

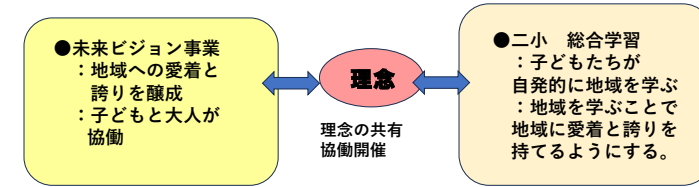
16

- 令和元年（2019年）公益社団法人 日本河川協会：「河川功労者賞」を二小が受賞  
 全国豊かな海づくり大会で、大会会長賞の受賞後も、二小では、地域の大人や行政も巻き込んで、新津川の環境改善活動の輪を広げていきました。  
 平成28年（2016年）には、新津川を管理する新津地域整備部が、新津川を遡上するサケのペアを確認し、同整備部が「新津川パンフレット」で「サケの遡上」の記事を掲載しました。  
 また、「サケの稚魚」の放流だけでなく、新津川河川敷への「スイセンの植樹」活動を地域の方々と行うなど様々な活動を積極的に活動してきています。

こうした長年の二小と地域の「河川愛護」活動が認められ、令和元年（2019年）には公益社団法人 日本河川協会の「河川功労者賞」を二小が受賞しました。  
 この受賞は、これまでの活動に対して贈られたものであり、これまでの活動が高く評価されたことで、その後の活動継続の大きなモチベーションとなったと考えております。

- 「新津川おかえり☆灯りぶろじょくと」の開始：令和元年～  
 この河川功労者賞を受賞したことを、これ前活動してきた子どもたちや地域の人々にお伝えするとともに感謝の想いを伝えることを願い、当時の渡辺校長先生が発案し、東部コミ協が協力し開催されたものが「新津川おかえり☆灯りぶろじょくと」です。  
 第1回は、秋葉区自治協議会の提案事業でしたが、2回以降は、二小、二小PTA、東部コミ協が秋葉区の地域補助事業として開催しており、今回で7回目を迎えることができました。

- 未来ビジョン事業の理念＝二小の総合学習の理念  
 未来ビジョン事業の理念は、子どもから大人までが、地域に関心を持ち、愛着を持って豊かな地域づくりを協働で行うことであり、これにより、地域の人々が『地域に愛着と誇り』を持って生活することであると考えております。  
 また、新津第二小学校が長年行っている「総合学習」も、子どもたちが地域の事を知り、地域の魅力を自分事としてとらえ、自発的に活動することを理念に行っていると考えています。  
 こうした観点から、未来ビジョンと総合学習の理念は、共通する点も多く、今後は、この2つの事業を「メイン事業・活動」と「関連事業・活動」と位置付けて、実施していくことが重要であると考えています。



## ■今後の新津東部地域の未来ビジョン事業のイメージ

- 「未来ビジョン事業」のメイン活動・事業
  1. 「新津川遊歩道マップ 写真募集」  
 新津川や遊歩道に対する関心を多くの方々に持ってもらうことを目的に、本事業は、今後も継続していきたいと考えています。  
 ⇒将来的には、収集した情報等を集約して、新津川の魅力を地域内外の方々に伝えることを目的とした『新津川遊歩道マップ』につなげていきたい。
  2. 「WANTED NIITSU SALMON」事業  
 新津川を遡上する「サケの遡上」を地域の人々に再確認してもらうことを目的に、本事業は少なくとも、「サケの遡上」情報を得ることが出来るまで継続していきたいと考えています。
- 「未来ビジョン事業」の関連活動・事業
  1. 新津第二小学校の総合学習（地域、新津川、サケをテーマにした物）
    - ・「夢新津川プロジェクト」
    - ・「サケ稚魚」の放流
  2. 新津川おかえり☆灯りぶろじょくと
    - ・幼保、小、中、高校、大学が協働
    - ・保護者と子どもたちが協働で「灯ろう作り」を行う。

3月                      6月                      9月                      10月                      12月                      3月



- 未来ビジョン事業：年間スケジュール案
  - ・二小4年生「サケの稚魚」放流 3月上旬  
 ・新津川遊歩道マップ 写真募集 6月～2月末
  - ・新津川おかえり☆灯りぶろじょくと 灯ろう作成 6月～10月
  - ・二小5年生 「サケ」に関する総合学習 4月～3月
  - ・二小6年生 「夢の新津川プロジェクト」、「地域をテーマにした総合学習」4月～3月
  - ・WANTED NIITSU SALMON募集 11月～12月
  - ・新津川おかえり☆灯りぶろじょくと 10月
  - ・サケ稚魚放流 3月
- 未来ビジョン事業を「メイン事業・活動」、「関連事業・活動」に位置付けて、それぞれの主催団体が中心となり、各事業を東部コミ協、二小が相互で協力・協働で行うことで、無理せず、地域内で、継続する事業として行うことが可能となると思います。

以上

令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

A班②

阿賀浦コミュニティ協議会

第2回阿賀満にじいろ祭り

～継続できる仕組みづくりを

目指して～

## 第2回阿賀満にじいろ祭り

～継続できる仕組みづくりを目指して～



阿賀浦コミュニティ協議会

1

## 第2回阿賀満にじいろ祭り

日時：2025年10月25日(土)  
(阿賀小学校 文化祭の後)

場所：阿賀小学校

主催：阿賀浦・満日コミ協

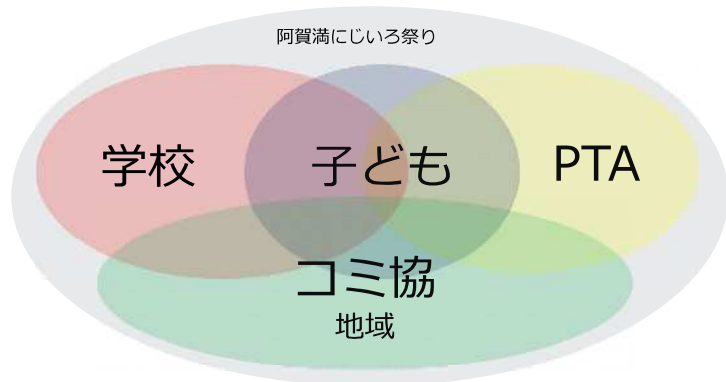
きっかけ：子ども達から「学校でお祭りがしたい」

目的：子どもが主役の場づくり  
地域コミュニティの活性化

2

## 継続のために意識したこと

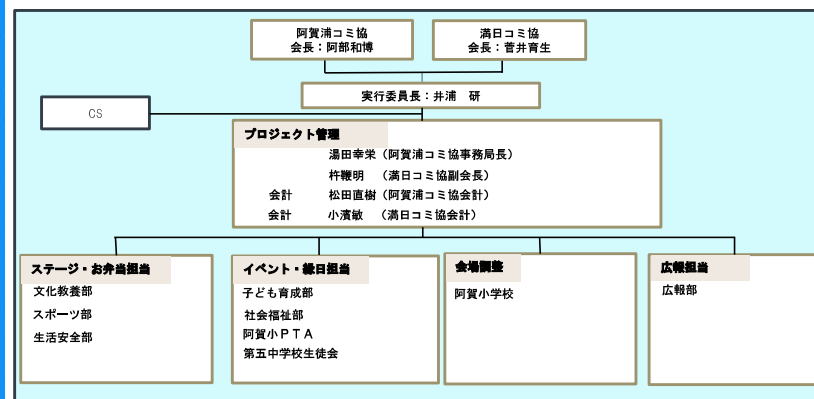
- ・子どもの声を起点に企画
- ・学校行事との連携
- ・子どもへの配慮（食事、時間）
- ・PTA、学校との連携
- ・両コミ協+中学生の協力
- ・大人と子どもも楽しめる内容



## 実行体制

実行委員会方式（多世代・多組織連携）

- ・阿賀浦/満日コミ協
- ・阿賀小学校、PTA
- ・新津第五中学校



# 成果と課題、今後の展望

## 成果

- ・子どもも大人も楽しめた
- ・地域のつながりが拡大
- ・協力する保護者が増加

## 課題、今後

- ・一部の人に負担集中
- ・継続できる仕組みづくり





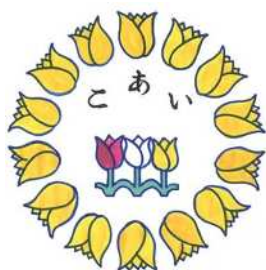
令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

B班②

小合地域コミュニティ協議会  
～子どもと一緒につくる  
居場所づくりと絆づくりの実践～

# 小合未来ビジョン

(令和7年度 報告まとめ資料)



子どもと一緒に作る  
居場所と絆づくり実践  
と＜今後の展望＞

小合地域コミュニティ協議会  
報告者：今井 康弘・大竹・古川

1



## 子どもと一緒に作る絆づくり

### 【取組の概要】

#### 子どもの居場所づくり

- キッズステーション（定期的な居場所活動）
- コミセンカフェ（世代間交流）
- 年1回の大型イベント（ハロウィンフェス）



大人と子供が一緒に関わる運営体制



2



## この取り組みを始めた背景

- 子どもが参加者にとどまり、企画や運営に関われる場が少ない
- 地域イベントは大人主導・単発になりがち



子どもが大人と一緒に考え、関われる形をつくりたいと考えた

子どもたちの参画事例（準備・企画・当日運営）



3



## ハロウィンフェスでの具体例

### 子どもの声をもとにハロウィンイベントを企画

- アンケートの声をもとに「ハロウィン」を採用
- おばけ屋敷はキッズメンバーの意見を採用
  - 会議～当日運営まで参加
- テーマソングをAIで制作
- ダンスはキッズメンバーが考案
  - YouTubeで事前公開
  - 当日は会場全体でダンス



ダンス動画（埋め込み）▶

※当日再生お願いします

みんなでおどろう！  
ミラビのテーマソング♪  
～こあいミラビキッズダンスver.～

4

## 多世代交流 「クリスマス」

12月21日  
小合コミュニティ協議会  
が毎年行っている「クリ  
スマスの集い」にボランティ  
アスタッフとして参加

●中学生の進行で行った「クイ  
ズ大会」など楽しい行事があり

●最後のプログラムは「中学生  
サンタ」さんによる 小学生・幼  
児へプレゼント配布をしました。



5

## サンタクロース役が**中学生**！



サンタの中学生  
も恥ずかしいけ  
ど、スバラシイ

6

小合の中学生の  
「地域デザイナー」  
としての  
取り組みスタート

小合の目指す人間像・生徒像  
「中学生の提言から」  
達成のための主な手立て

○祭りの活性化

○奉仕活動の活性化

## 今後の展望



7



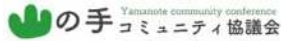
令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

C班②

山の手コミュニティ協議会  
～フリースペース山の手～

# フリースペース山の手

令和7年度未来ビジョンきらめき未来プロジェクト事業報告



## 目的

### ①地域の居場所づくり

- ・地域で子どもを見守り、一人で過ごす子どもや高齢者等も交流
- ・自主学習の環境作り、家庭ではできない遊びや体験を
- ・地域人材の発掘の場と顔の見える関係を作る

### ②施設の有効活用

- ・予約団体しか利用できない施設のフリー開放
- ・乳幼児や子どもにも利用しやすい施設設備の改善



1

# 「フリースペース山の手」活動内容

## ①「水しぶきを浴びながら思いっきり遊ぼう！」参加者約80名 R7.7.29 16:00~17:00



小須戸運動広場野球場の芝生管理の散水を活用  
炎天下の夏、通常は入れない野球場の芝生の上で、水しぶきを浴びてびしょぬれになって大はしゃぎする子どもたち



2

# 「フリースペース山の手」活動内容

## ②「フリースペース山の手」参加者のべ20名 R7.8.1、2、22 9:30~12:00



小須戸地区ふれあい会館を開放。静かな学習スペースと遊ぶ場所を用意。  
涼しく広い室内でニュースポーツ「モルック」にみんなで挑戦したり、鬼ごっこやパズル、大型トランプ、的当てなどのゲームやおもちゃで歓声が上がりました。



3

# 「フリースペース山の手」活動内容

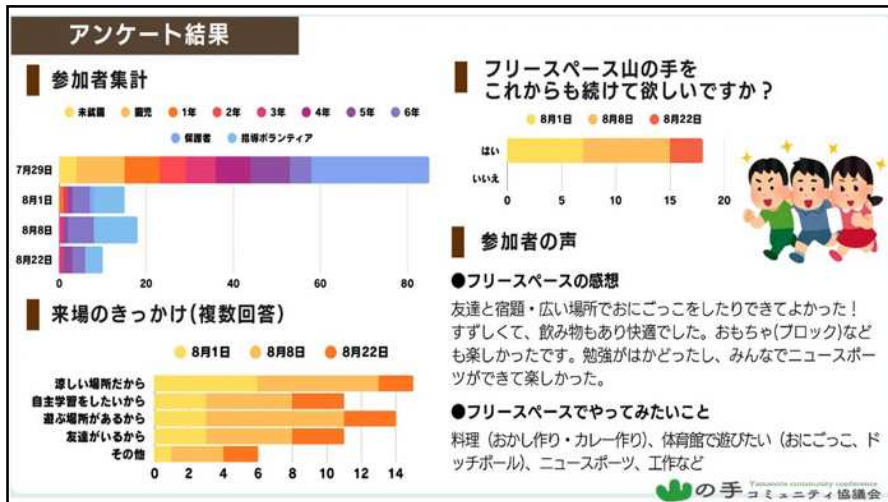
## 「フリースペース山の手」参加者のべ20名 R7.8.1、2、22 9:30~12:00



折り紙、マイうちわ、しおり、20周年ガーランド作りでは、キラキラ個性を發揮！  
3日間のべ25名のボランティアの方たちが、のべ19種の活動に協力しました。



4



5

## 成果と課題

- 予定された4日間実施。のべ参加者107名
- 散水は、親子に大人気企画となった
- のべ19種類、家や一人ではできない遊びや体験を用意し好評を得た
- 大人も子どもも楽しく交流する姿が見られた
- 工作は地域の茶の間や20周年記念で活用
- 簡易的な授乳、おむつ交換、着替え場所設置→避難所設営時利用可能へ

- ◆ 全員、継続を希望。ホールでの運動や料理体験への要望があった。
- ◆ 平日放課後や長期休み中の定期開催や対応できる人材の確保などが課題。

→ 今後の開催や体制づくりの検討が必要

ご清聴ありがとうございました

の手 Yamate community conference  
 コミュニティ協議会

6



令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

A班③

満日コミュニティ協議会  
～SNS1億人プロジェクト～

国の3つの視点

(デジタル化、持続可能性、連携から)

# SNS1億人プロジェクト

～国の3つの視点(デジタル化、持続可能性、連携)から～



総務省『地域コミュニティに関する研究会報告書』R4.4

満日コミュニティ協議会・未来ビジョン委員会 R8.3

1

## 1 満日フォトコンテスト

R7.8.1-10.1(募集期間)

- ポスター掲示  
園・小・中・高・大  
地域、公的施設、駅
- 協賛金 地元企業10社
- HP、インスタで呼びかけ



2

## 2 表彰式(R7.11.1)

満日地区文化祭にて

大賞 1点  
優秀賞 4点  
満日賞 2点

応募数が少なかったが、  
市外や中学生の応募



3

## 3 振り返り

子どもたちのアイデア  
「地域住民の誇りや愛着を高める」



- ① デジタル化…SNSフォロワー数 42
- ② 持続可能…中学生
- ③ 主体間の連携…園小中高大、地元企業



大賞 陽に映えるはさぎ並木

4

## 4 展望

- デジタル化… インスタあと 99,999,949
- 持続可能性… 地域の若者
- 主体間の連携(小中PTA、開放団体、区コミ協)



松澤フミ(ポーランド孤児を助けた地元の看護師)、QRコードの常掲、ホームページ・インスタ掲載へのシステム化



満日コミ協ホームページ

Start II



令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

B班③

金津コミュニティ振興協議会

若者と創る金津の未来  
～金津PR大使の挑戦～



# 令和7年度 コミュニティ未来ビジョン アクションプラン事例発表会

## 若者と創る金津の未来 ～金津PR大使の挑戦～

金津地区コミュニティ振興協議会  
Instagram: @kanazu\_daisuki

### 企画背景・実施に向けた工夫

03

#### なぜ、その取組を行ったか

地域の現状：人口6,709人／高齢化率37.3％／空き家増加  
豊富な資源：中野邸記念館、県立植物園、新潟薬科大学、新津油田  
課題認識：資源の**魅力発信が不足**しており認知度が低い。  
また、将来的な自治活動の担い手不足も懸念。

#### なぜ『大学生×SNS』なのか

若者の視点を取り入れ、効果的に情報を届けるため。

##### 若者の視点

学生の感性で、地域の隠れた魅力を再発見

##### SNS発信力

Instagramでタイムリーかつ共感を呼ぶ発信

#### 実施に向けたプロセス

R6.9-10 事前WS・まちあるき（地域の魅力再発見）

R6.11 事後WS（空き家活用・発信案の検討）

R7.5 先進地視察研修（他地域の事例学習）

R7.10 金津PR大使（新潟薬科大学生）委嘱

R7.12 Instagram開設・研修会開催



世代を超えたワークショップの様子  
(参加者が床に座って議論している風景)



活発な意見交換が行われた検討会の様子  
(参加者が椅子に座って発表を聞いている風景)



### 取組名称と概要



【取組名称】

## 金津PR大使による地域魅力発信プロジェクト

- ✓ 実施主体：新潟薬科大学の学生11名を「金津PR大使」に委嘱（令和7年10月）
- 📱 Instagramアカウントを開設し情報発信を開始（令和7年12月）
- 👥 Instagram研修会を開催（参加33名、令和7年12月）
- 👉 若者目線で地域魅力を届け、地域内外の関心を喚起



金津PR大使委嘱状交付式（令和7年10月）

### 実施プロセスと具体的取組



#### 対話から生まれた、新しい地域づくりの形

R6.9-10: 事前ワークショップ・まちあるき

R6.11: 事後ワークショップ

R7.5: 先進地視察

R7.10: 金津PR大使委嘱(新潟薬科大学生11名)

R7.12: Instagram開設・研修会開催



Instagram研修会(参加33名)

## 始まった循環、広がる可能性



### 【成果】

- Instagram開設・情報発信開始
- 世代を超えた学び合いと運用基盤形成
- 若者主導で継続発信

### 【課題】

- フォロワー数・リーチ拡大
- 発信頻度・継続性
- 発信テーマの体系化と効果測定

### 【今後の展望】

- 地域全体の応援体制づくり
- 移住促進・空き家活用連動の特集発信
- 大学連携の強化



フォロー・いいね・シェアで応援！

いますぐスキャン！



金津PR大使を応援してください！

@kanazu\_daisuki

フォロー・いいね・シェアで金津の魅力を広げよう！

金津地区コミュニティ振興協議会





令和7年度  
秋葉区未来ビジョン活動報告

C班③

小須戸コミュニティ協議会

1 食育と世代間交流事業

2 こすどまちづくりフォーラムの  
開催

令和7年度  
**きらめき未来プロジェクト**  
 (未来ビジョン部門)

1.食育と世代間交流事業

2.こすど まちづくりフォーラムの開催



小須戸コミュニティ協議会

1

1.食育と世代間交流事業

◆目的

- ・コミ協が運営している移住体験農園で収穫した農産物を活用した食育
- ・親子や世代を超えた交流の場をつくる
- ・食生活改善推進員との連携

◆第1回 サツマイモ料理教室 令和7年11月29日  
 (参加者/親子5組 10名)  
 メニュー/サツマイモ炊き込みごはん/さつまい/大根と鶏肉の煮物/スイートポテト

◆第2回 サトイモ料理教室 令和7年12月20日  
 (参加者/親子3組 7名)  
 メニュー/黒豆ごはん/のっぺ/伊達巻/紅白なます/フルーツさんどん



◆成果

- ・子どもたちは包丁の使い方や食材の扱い方を学び、「自分で作った料理はおいしい」と達成感を感じることができた
- ・「家でも一緒に作りたい」「子どもの成長を感じた」といった声が聞かれ、家庭や地域のつながりづくりに寄与する事業だった。

2

2.こすど まちづくりフォーラム2025

令和7年11月15日(土) 午前9時~12時

第1部 9:00 まち歩き

第2部 10:20 グループディスカッション  
 グループ発表

テーマ「地域の活性化について」  
 ~町屋の利活用と多世代のアイデアで未来をひらく~



参加者  
 商店主、商工会、市議、一般 18名  
 大学生 1名  
 高校生 11名  
 合計30名

3

①こすどまちづくりフォーラム開催の背景

小須戸コミ協では、令和4年度より地域活性化の一環として、**空き家・空き店舗の活用**を検討  
**世代や立場を超えた意見交換の場**をつくり、新たな発想や連携を生み出すため  
 地域資源を活かした具体的な取組や行動につなげるきっかけとするため

▶ 単なる意見交換にとどまらず、  
**「気づき → 共感 → 行動」**へつなげることを目的とする

②フォーラム開催までのプロセスで一番大事な点→【参加者の募集】

小須戸コミ協  
 若い世代、現役世代の  
 意見やアイデアが聞きたい



新津南高校  
 「地域と関わりたいという思い」

高校生11名の参加が実現

4

## 成果と課題 今後の展望

### ●小須戸の良い所、こんな小須戸になったらいい

- ・コンパクトタウン
- ・自然が豊か
- ・人が優しい
- ・商店街と町屋
- ・若い人が行きたい場所を増やす
- ・小須戸を知ってもらおう



### ●どう実現するか

- ・SNSで情報発信、CMを作る
- ・町屋に映えスポットを設置
- ・若い人が集まれる場所を作る
- ・商店街へお店の誘致
- ・起業する人への場所の提供 など

→次年度の取り組みとして検討